

RXファミリ用 統合開発環境CubeSuite+ ご使用上のお願い (対象 : RXファミリ用リアルタイムOS RI600V4・RI600PX)

RXファミリ用CubeSuite+の使用上の注意事項を連絡します。

- リアルタイムOS用プロジェクトをビルドする場合の注意事項

注: 対象となるリアルタイムOS製品は、RXファミリ用リアルタイムOS RI600V4 と、RXファミリ用リアルタイムOS RI600PX です。

1. 該当製品

- RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ (統合開発環境つき)
- RXファミリ用ライセンスを追加した無償評価版CubeSuite+

上記のうち、CubeSuite+ 共通部分 V1.01.00 ~ V2.00.00である製品。

2. 内容

リアルタイムOS用のプロジェクトをビルドした時に、サービスコールテーブルファイル (ritable.src) がビルド対象にならないことがあります。

その場合、サービスコールが正しくアプリケーションプログラムへリンクされないため、プログラムを実行した時、サービスコールで以下のエラーが発生します。

「E_NOSPT(-9)」 (組み込まれていないサービス・コールの呼び出し)

3. 発生条件

3.1 発生条件1

以下の条件をすべて満たした場合にビルドを実行すると発生することがあります。

- (1) CubeSuite+ 共通部分がV2.00.00である。
- (2) リアルタイムOS用プロジェクトである。
- (3) CC-RX (ビルド・ツール) のプロパティで、「共通オプション」タブ -> 「ビルド方法」カテゴリ -> 「一括ビルドを行う」プロパティが「はい」である。

(4) ソースファイルを編集してサービスコールを追加した。

3.2 発生条件2

以下の条件をすべて満たした場合にビルドを実行すると発生することがあります。

- (1) CubeSuite+ 共通部分がV1.01.00 ~ V2.00.00である。
- (2) リアルタイムOS用プロジェクトである。
- (3) ソースファイル毎にCC-RX (ビルド・ツール) のプロパティで、
「コンパイル・オプション」タブ -> 「最適化」カテゴリ ->
「外部変数アクセス最適化を行う」プロパティの設定値が異なっている。
- (4) 「外部変数アクセス最適化を行う」プロパティが「いいえ」であるソース
ファイルを編集してサービスコールを追加した。

4. 回避策

4.1 発生条件1に対する回避策

以下のいずれかの方法で回避してください。

- (1) サービスコールを追加した場合は、「ビルド」メニューから
「リビルド・プロジェクト」を選択して、プロジェクトのリビルドを
実行してください。
- (2) 「一括ビルドを行う」プロパティを「いいえ」にしてください。
注意: この場合、「コンパイル・オプション」タブ ->
「最適化」カテゴリ -> 「大域最適化を行う」プロパティが
使用できなくなります。

4.2 発生条件2に対する回避策

サービスコールを追加した場合は、「ビルド」メニューから
「リビルド・プロジェクト」を選択して、プロジェクトのリビルドを
実行してください。

5. 恒久対策

CubeSuite+ 共通部分の次期バージョンで改修します。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。